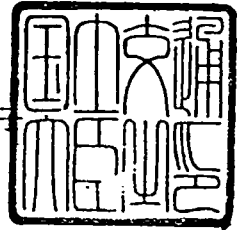


認定書

国住指第 8140 号
平成 15 年 1 月 29 日

積水化学工業株式会社
代表取締役 大久保 尚武 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0101
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
給・排水管・ケーブル/アクリル系樹脂シーリング材・アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート充てん/壁耐火構造/貫通部分
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(別添)

1. 構造名

給・排水管・ケーブル/アクリル系樹脂シーリング材・アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート
充てん/壁耐火構造/貫通部分

2. 寸法及び形状等

(寸法単位: mm)

項 目	申 請 構 造
開 口 部	(面積) 硬質塩化ビニル管 0.00196m ² 以下(φ0.05m以下)
	さや管 (架橋ポリエチレン管、ケーブル) 0.00196m ² 以下(φ0.05m以下)
	さや管 (ポリブテン管) 0.00196m ² 以下(φ0.05m以下)
	ポリブテン管 0.00196m ² 以下(φ0.05m以下)
	さや管 (架橋ポリエチレン管) 0.00196m ² 以下(φ0.05m以下)
	架橋ポリエチレン管 0.00125m ² 以下(φ0.04m以下)
	金属強化ポリエチレン管 0.00125m ² 以下(φ0.04m以下)
	被覆付架橋ポリエチレン管 0.00125m ² 以下(φ0.04m以下)
	(形状) 円形
占 積 率 (開口面積に対する給・排水管 ・ケーブル断面積の総合計の割合)	硬質塩化ビニル管 57.76% 以下
	さや管 (架橋ポリエチレン管、ケーブル) 70.56% 以下
	さや管 (ポリブテン管) 70.56% 以下
	ポリブテン管 70.56% 以下
	さや管 (架橋ポリエチレン管) 70.56% 以下
	架橋ポリエチレン管 72.25% 以下
	金属強化ポリエチレン管 64.00% 以下
被覆付架橋ポリエチレン管 60.06% 以下	
貫通する壁の構造等	中空壁 (両面せっこうボード 厚12.5以上 重張) 厚さ 100以上
	(両面に厚8以上のスラグせっこう系セメント板の 上に厚12以上のせっこうボードを張ったもの) 厚さ 100以上
	(両面に厚16以上の強化せっこうボードを張ったもの) 厚さ 100以上
	(両面に厚12以上の強化せっこうボードの上に厚9以上 のせっこうボード又は難燃合板を張ったもの) 厚さ 100以上
	(両面に厚9以上のせっこうボード又は難燃合板の上に 厚12以上の強化せっこうボードを張ったもの) 厚さ 100以上
	A L Cパネル 厚さ 100以上
	コンクリート 厚さ 100以上

(別添-1)

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

項目		申請構造			
給・排水 管・ケーブル	硬質塩化ビニル管	規格	JIS K 6741, JIS K 6742		
		外径 内径 本数	18.0~38.0 13.0~31.0 1本		
		さ	材質	ポリエチレン系樹脂	
	外径 内径 本数		23.0~42.0 17.0~36.0 1本		
	架橋ポリエチレン管		規格	JIS K 6769, JIS K 6787	
		外径 内径 本数	8.0~17.0 4.8~12.8 2本以下		
		や	ケーブル	材質 (1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)CV (2)CVV (3)VV (4)シースなし	
	構成		0.3mm ² ×3芯以下		
	外径 本数		6以下 1本以下		
	管	ラッピング	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)ラッピングなし、(2)ラッピングあり		
			(2)-1 ラッピング テープ	材質 アルミニウムはく/PETフィルム 厚さ 0.023以上 幅 30以上	
		(2)-2 粘着テープ	材質	PETフィルム	
			厚さ 幅	0.025以上 10以上	
		さ	や	材質	ポリエチレン系樹脂
				外径 内径 本数	23.0~42.0 17.0~36.0 1本
	管			規格	JIS K 6778, JIS K 6792
		ポリブテン管	外径 内径 本数	11.0~34.0 7.6~28.1 1本	
			規格	JIS K 6778, JIS K 6792	
	さ	や	管	材質	ポリエチレン系樹脂
				外径 内径 本数	23.0~42.0 17.0~36.0 1本
架橋ポリエチレン管				規格	JIS K 6769, JIS K 6787
	外径 内径 本数	8.0~34.0 4.8~26.0 1本			
	架橋ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, JIS K 6787		
外径 内径 本数		8.0~34.0 4.8~26.0 1本			

(寸法単位：mm)

項目		申請構造	
給・排水管・ケーブル	金属強化ポリエチレン管	材質	ポリエチレン樹脂・ポリエチレン系接着剤・アルミニウム・ポリエチレン系接着剤・ポリエチレン樹脂
		外径	14.0～32.0
		内径 本数	10.1～26.1 1本
	被覆付架橋ポリエチレン管	規格*	JIS K 6769, JIS K 6787
		被覆フィルム	エラストマー樹脂
		外径 内径 本数	17.0～31.0 9.8～20.5 1本
防火措置材料	膨張材 (以下、熱膨張性シートという)		
	シーリング材	規格	JIS A 5758
		材質	(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする (1)アクリル系樹脂 (2)アクリルウレタン系樹脂 (3)ポリウレタン系樹脂 (4)シリコン系樹脂 (5)変成シリコン系樹脂 (6)ポリサルファイド系樹脂 (7)変成 [*] リサルファイト系樹脂
		使用量	40g/m以上

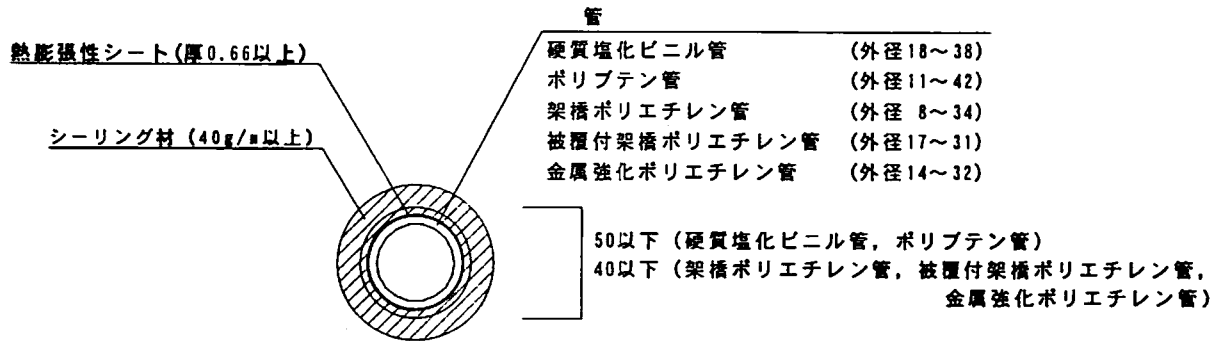
*：被覆を除く素管の規格を示す。

4. 構造説明図

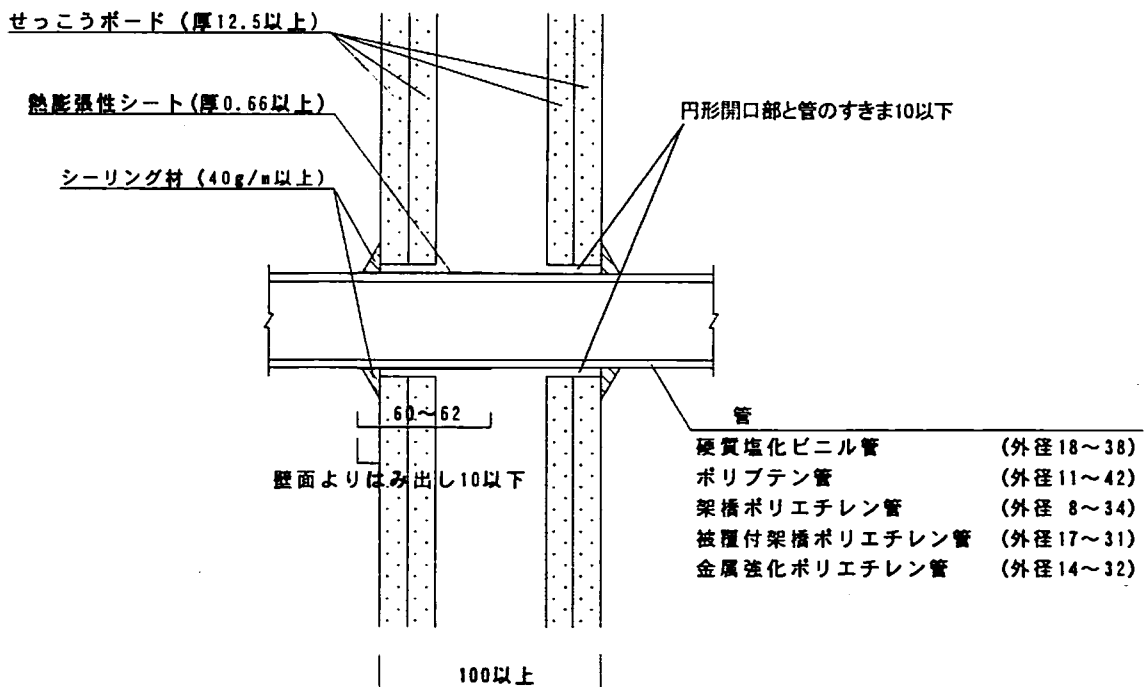
A. さや管なしの場合

(寸法単位：mm)

・正面図



・断面図



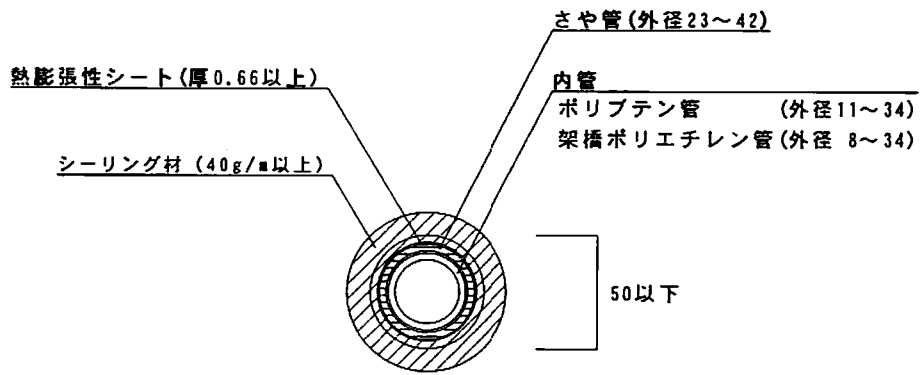
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

(別添-4)

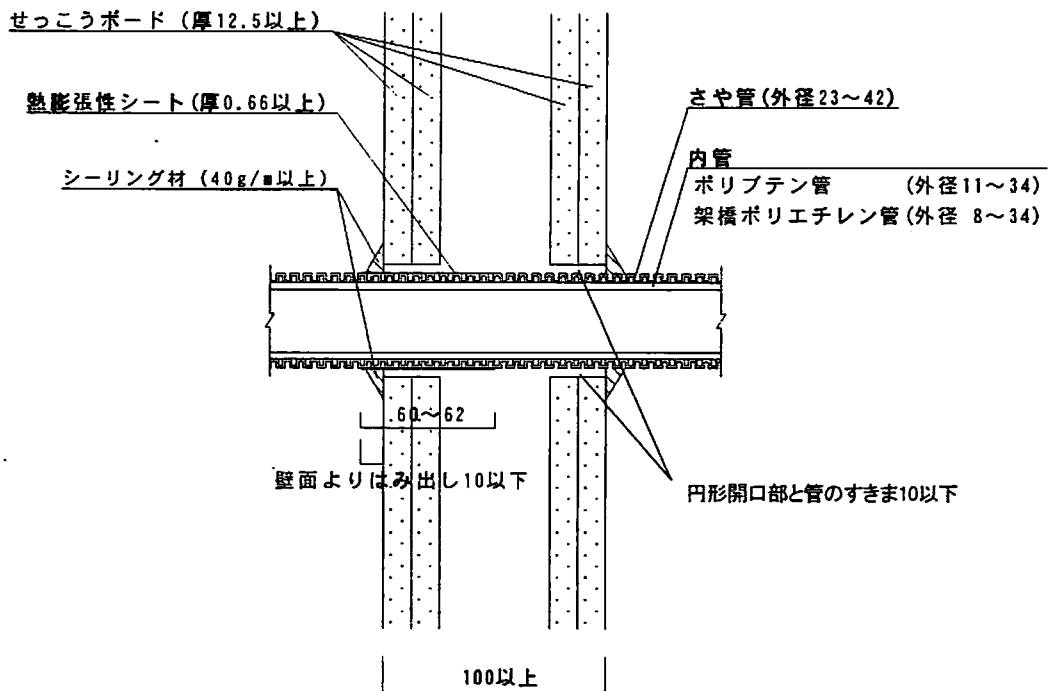
B. さや管付（ケーブルなし）の場合

(寸法単位：mm)

・正面図



・断面図

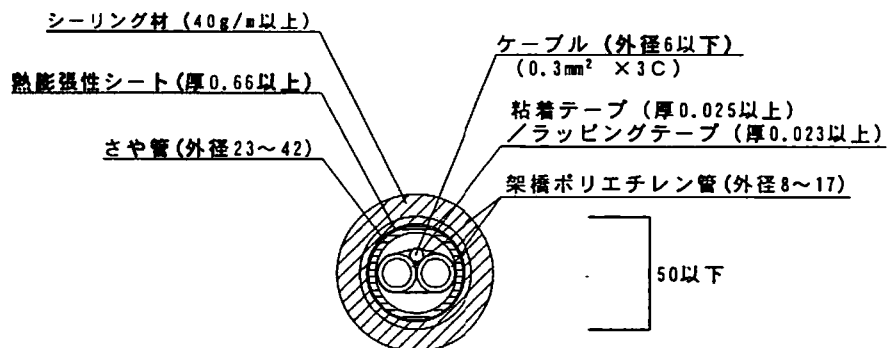


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

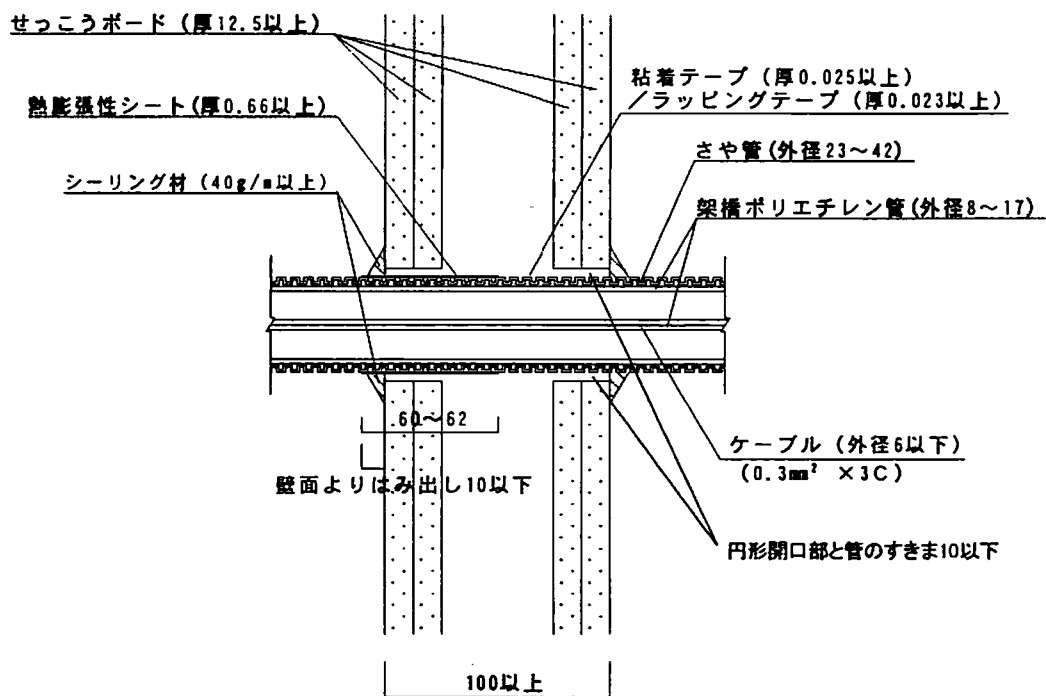
C. さや管付（ケーブルあり）の場合

（寸法単位：mm）

・正面図



・断面図

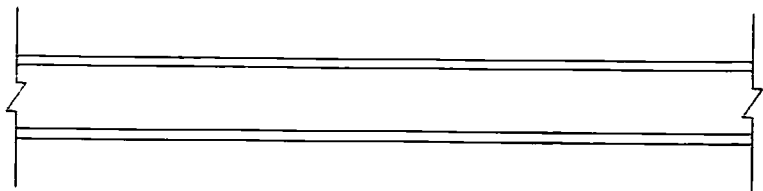
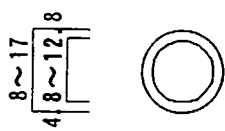
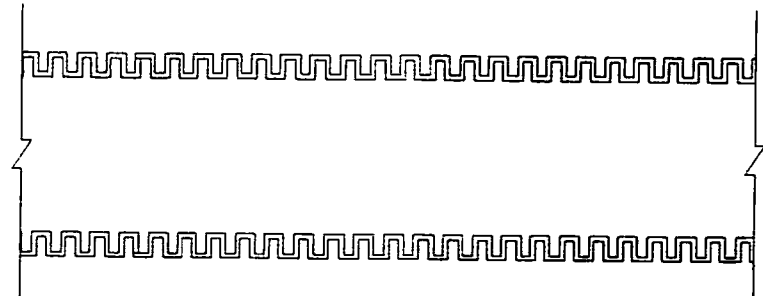
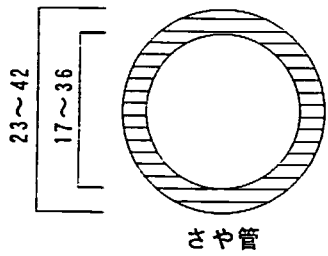
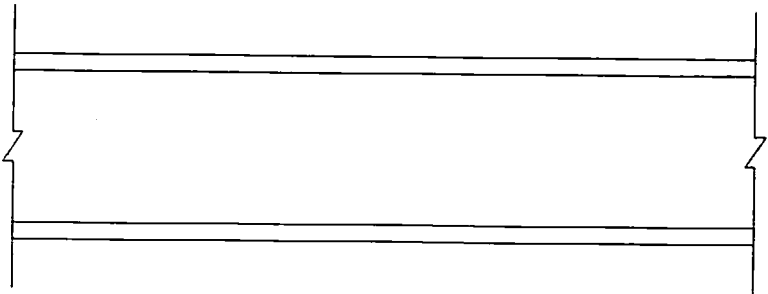
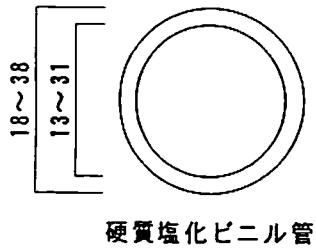
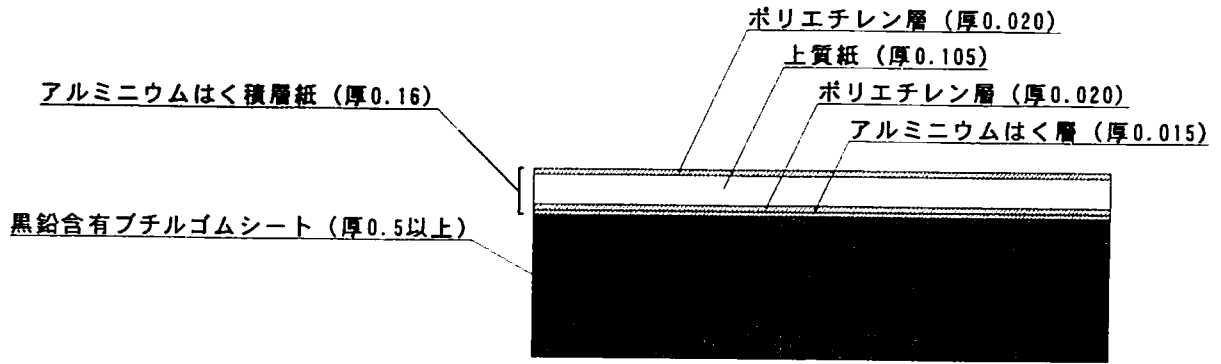


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

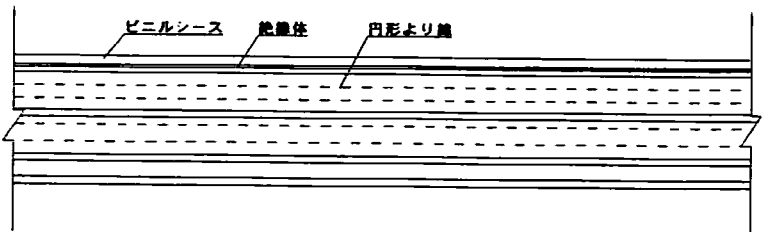
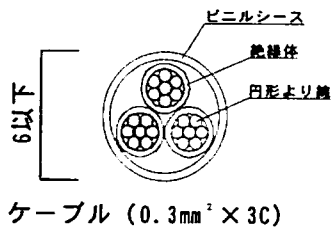
(別添-6)

(寸法単位：mm)

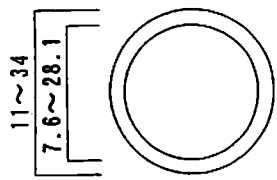
熱膨張性シート構成図



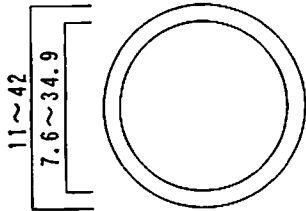
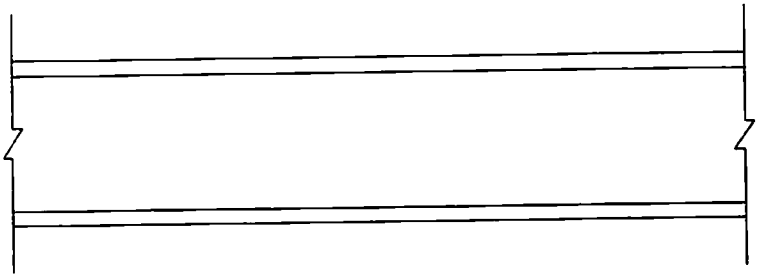
架橋ポリエチレン管



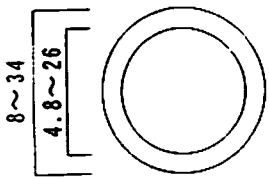
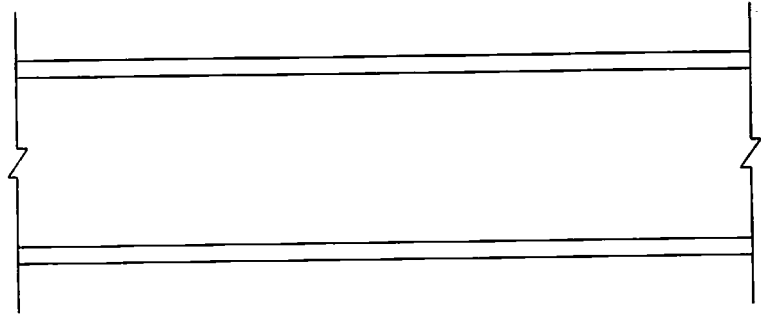
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり



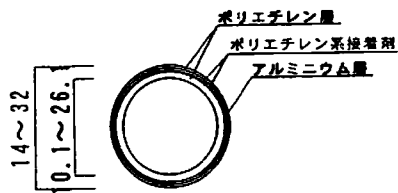
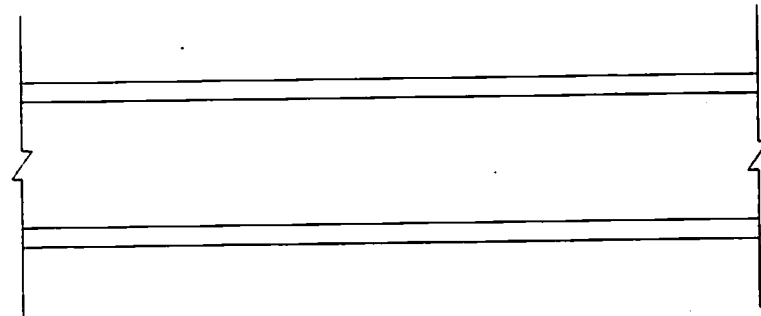
ポリブテン管



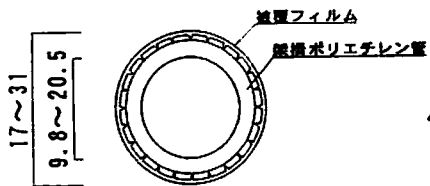
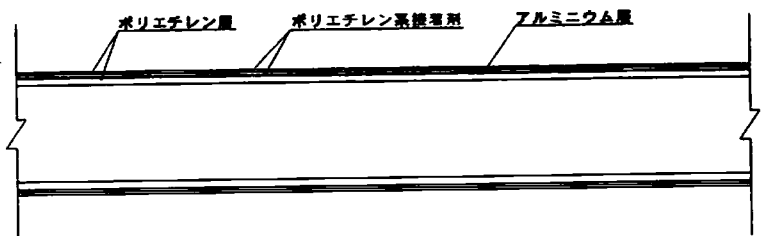
ポリブテン管



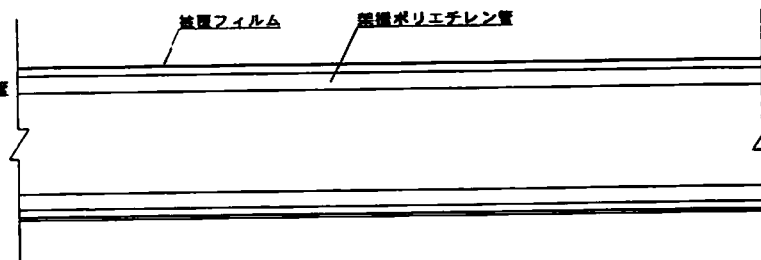
架橋ポリエチレン管



金属強化ポリエチレン管



被覆付架橋ポリエチレン管



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

<施工手順>

(1) 事前準備

開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する。

(2) 区画貫通処置

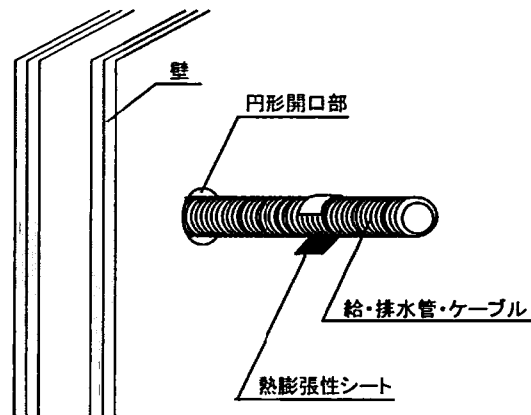
①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

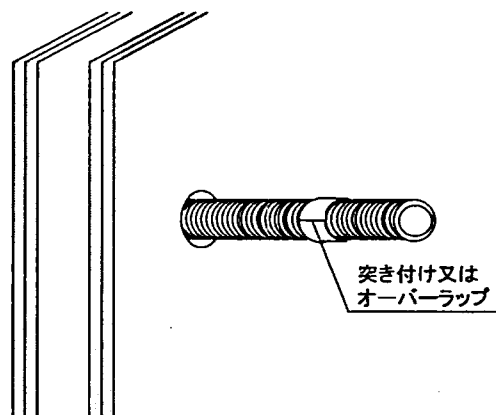
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認できる程度(壁面より10mm以下)の位置となるようにする。

②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。

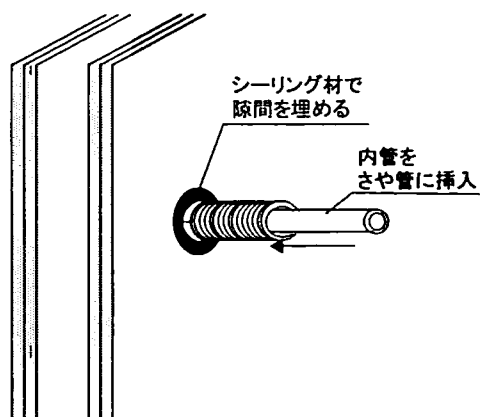
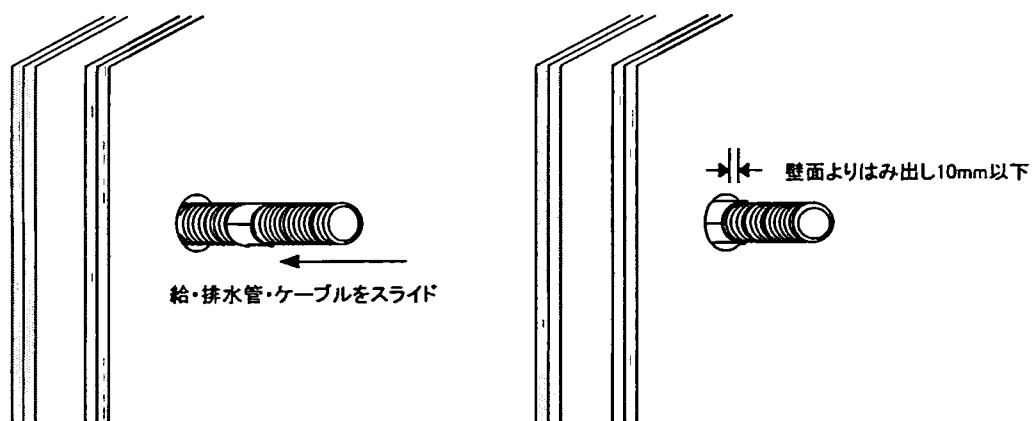


また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)。



③開口部の埋め戻し

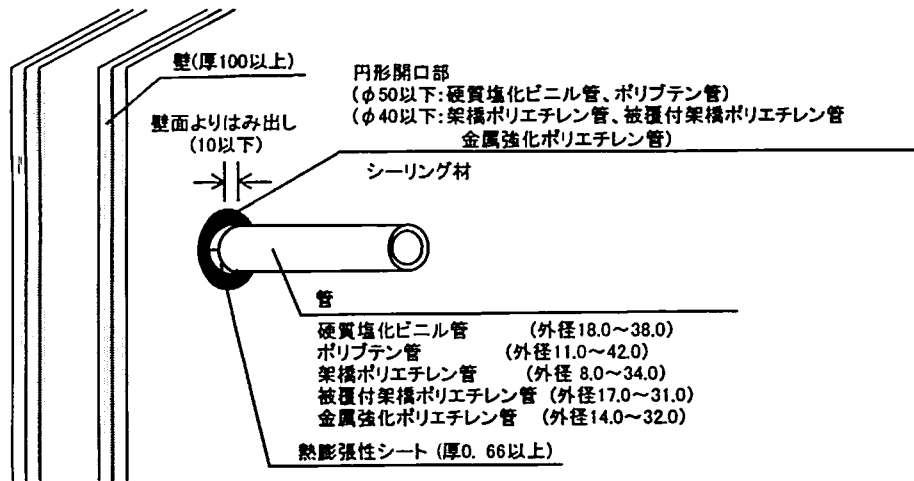
管をスライドさせ、所定の位置に設置し、両壁面側の隙間をシーリング材で充てんする。



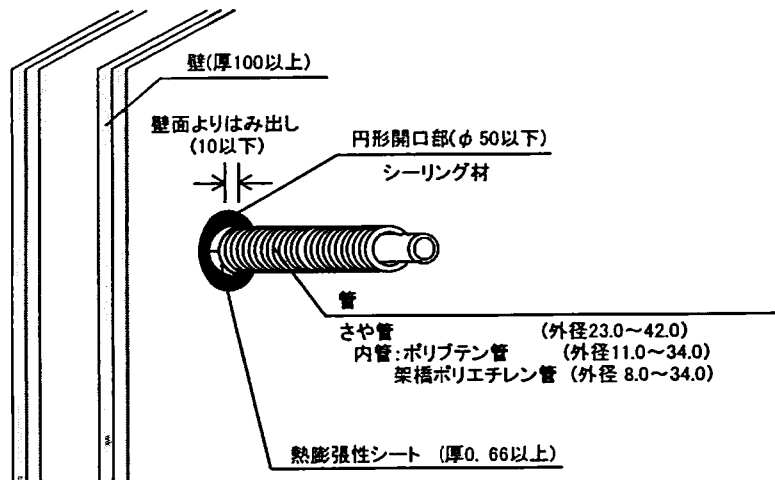
<施工図>

(寸法単位: mm)

・ A. さや管なしの場合



・ B. さや管付 (ケーブルなし) の場合



・ C. さや管付 (ケーブルあり) の場合

